

## コロナ禍における福祉輸送の実状と取組み

世田谷区福祉移動支援センター「そとでる」

福島 麻里子、目加田 絵美子、佐藤 未来

泉谷 一美、服部 里絵

(コロナ 福祉輸送)

### 1. 目的

コロナの影響で4月以降「そとでる」の通常業務は、配車依頼の件数、相談件数ともに減少した。この状況を受けて、コロナ禍での運行事業者や介護現場の実状を把握し、「そとでる」のこれからの方針を考えることを目的とした。コロナ対策講習会や、アンケート調査の実施結果を報告する。

### 2. 実践内容

- ①「実演によるコロナ感染症拡大防止対策講習会」開催：2020年7月17日、参加22名
- ②そとでる登録運行事業者へアンケート「コロナ禍での現状・要望について」：回答55/133事業者
- ③あんしんすこやかセンターへアンケート「コロナ禍での取り組みについて」：回答19/28あんすこ

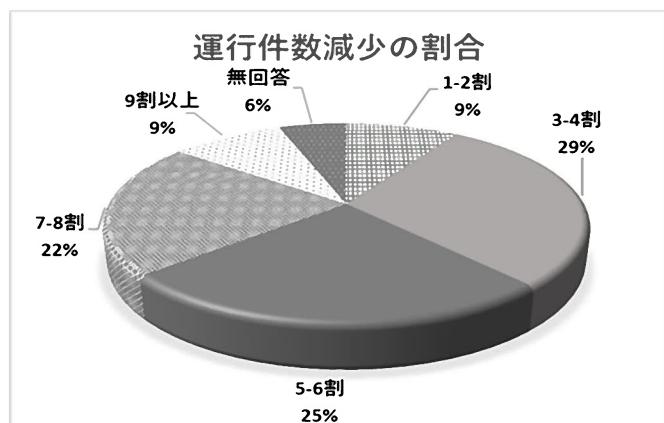
### 3. 結果

①講習会では、運行事業者の感染対策の実演によりコロナ禍での通常とは異なる運行時の緊張感を実感できた。また、運行準備や運行後の消毒などに多くの時間と資材を要することを知ったとともに、感染拡大防止対策の大変さと必要性を理解できた。



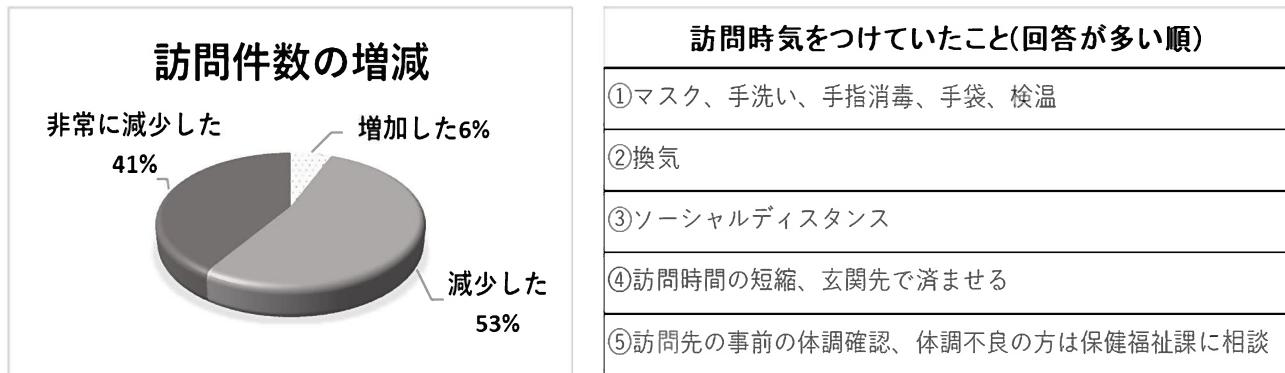
②③運行事業者とあんしんすこやかセンターへのアンケートでは、介護現場での取り組みや対策、そとでるへの要望を具体的に知ることができた。

#### そとでる登録事業者へのアンケート（抜粋）



コロナ対策で実施していること	
マスク着用	100%
車両内消毒	100%
運行中の窓開け	98%
運転席と後部座席の遮蔽	27%
車載空気清浄機	22%
その他	7%

## あんしんすこやかセンターへのアンケート結果(抜粋)



### 4. 考査と今後の課題

「そとでる」は、コロナ禍の対応も含め、災害時も可能な限りの運行を目指し配車業務を行う所存です。

そして、これからも地域の人々の心身の健康のために、安全に外出できる社会を目指し、情報収集を積極的に行い企画運営を行っていきます。



<助言者コメント>

川上 富雄（駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻教授）

「そとでる」は、外出困難な人々を対象に、区内 114 の移送事業者(車 200 台)と契約を結び、最適な車の配車を行う事業を行っています。そのほかにも、移動サービスに関わる相談業務、講習や研修会の企画実施を行っています。コロナ禍において利用は大きく減りましたが、それでも外出しなければならない方もおられます。

「そとでる」では、統一的なコロナ防止対応をするため、健康状態と体温チェック、希望者への PCR 検査、ソーシャルディスタンスの維持、などをルール化しました。講習会はいくつか中止となりましたが、安全対策を工夫しながら開催していく予定です。その一例として 7 月 12 日に開催した「コロナ感染症拡大防止講習会」を紹介しています。この講習会では、コロナ状況下での移送事業運用のために、事業者に運転席と後部席の遮蔽方法、飛沫防止方法、消毒方法などを伝えました。また、登録事業者、あんしんすこやかセンターへのアンケートを踏まえての改善にも取り組んでいます。

このように、利用者と事業者を繋ぐコーディネーターとして、事業者への講習・研修など後方支援者として、新たな課題の解決に日々取り組んでいる様子が発表から伝わってきました。